

学生による演奏会
Sympathy

”芸術“と”テクノロジー“

”映像“と”音楽“の共鳴

音とテクノロジーの地平線を求めて
Ensemble NOMAD による演奏会

Kaleidoscope

カレイドスコープ 2012

2012年 **3/11** 日

愛知県芸術劇場 小ホール

名古屋市東区東桜一丁目13-2 TEL. 052-682-0222

Sympathy

開演 13:00 [開場 12:30] 入場料 500円 (全席自由)

音とテクノロジーの地平線を求めて

開演 19:00 [開場 18:30] 入場料 3,000円 (全席自由)

演奏 アンサンブルノマド 招待作曲家 ロドリゴ・シーガル ビエール・シャルベ オリヴァー・シュネラ

企画：名古屋芸術大学音楽ビジネス・ステージマネジメントコース

制作：名古屋芸術大学サウンド・メディアコース

主催：名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科

協力：愛知県芸術文化情報センター



「Sympathy」

昼の部は、サウンドメディアコースが中心となり、音楽制作、立体音響を担当、音楽ビジネスコースが企画ならびに演出を行い、コラボレーションをしながら、それぞれの知識やアイデアを生かし合って、最先端のテクノロジーとヒューマンな発想を融合させた未来志向のアート空間の創造を目指していきます。今回のカレイドスコープのコンセプトは『Sympathy』です。『Sympathy』とは共鳴という意味で、人間とテクノロジーと芸術の共鳴を音楽と映像で表現します。音楽は自由な発想に基づいた独創的なものとし、映像、演出面においては形や模様、色彩など視覚的にも楽しめるイベントを目指します。今年作品は、アコースティック楽器や、エレクトリック楽器とライブエレクトロニクスやプログラミングの融合した作品が、立体音響を用いた音表現で展開されていきます。

Sympathy

開演13:00 開場12:30

入場料 500円 (全席自由)

2012年

Kaleidoscope 3/11

カレイドスコープ 2012

愛知県芸術劇場 小ホール

音とテクノロジーの地平線を求めて

開演19:00 開場18:30 入場料 3,000円 (全席自由)

アンサンブルノマド

Ensemble NOMAD



1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年度に行なった定期演奏会「ケージとメジアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は、大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「カウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンボ」、2005年11月パリで行なわれた「フェスティバル・アテンボ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また、2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」

などに出演。一昨年には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行い、好評を博した。今後もオーストラリア、オランダ、フィンランドなどでの公演を予定している。2008年の「武満徹作曲賞」の最終審査会で演奏を担当し、審査委員のステイーヴ・ライヒ氏から「次はノマドと一緒に演奏会を開きたい」と絶賛されるなど、国内外の評価は非常に高く、今後の活動から目が離せないアンサンブルである。CDは、近藤謙「梶子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエン・オリエンテーション」(ALCD-67)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福土則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。公式ホームページ:www.ensemble-nomad.com

招待作曲家



ピエール・シャルベ
Pierre Charvet

フランス



オリヴァー・シュネラ
Oliver Schneller

ドイツ



ロドリゴ・シーガル
Rodrigo Sigal

メキシコ

「音とテクノロジーの地平線を求めて」

カレイドスコープ2012 夜の部は、最先端のテクノロジーを多角的に駆使したゲスト作曲家と名古屋芸術大学教員による作品コンサートとなります。IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)に関わってきたピエール・シャルベ(フランス)、オリヴァー・シュネラ(ドイツ)、そしてCMMAS(メキシコ電子音楽センター)のディレクターであるロドリゴ・シーガル(メキシコ)の国際的に活躍する3名の招待作曲家による個性的な作品と、田中範康、岩本渡、伊藤美由紀の3名の本学教員による新作を、アンサンブルノマドのメンバーによる演奏とサウンドメディアコースによるテクニカルサポートで日本初演、世界初演致します。エレクトロニクスと生演奏の融合により生まれる新たな音の世界を追究したユニークなプログラムをお届けします。

主催/名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科

協力/愛知県芸術文化情報センター

お問い合わせ: 名古屋芸術大学演奏課 TEL.0568-24-5141 e-mail: meigel.business09@gmail.com

企画: 名古屋芸術大学音楽ビジネス・ステージマネジメントコース

制作: 名古屋芸術大学サウンド・メディアコース



スマートフォンで見られます

カレイドスコープ2012 特別サイト
http://nua-renaissance.lolipop.jp/



会場へのアクセス

- 地下鉄 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分 (オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)
- 名鉄 瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分 (オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)
- 自動車 名古屋高速東新町出口から3分